



使えますか？AED

最近よく耳にするAED（自動体外式除細動器）とはコンピュータで傷病者の心臓のリズムを自動的に調べ、除細動（電気ショック）が必要かどうか決定するとともに、どういう操作をすべきか音声メッセージ「AED設置場所表示」で指示し必要な場合に限り除細動を実施する医療機器です。（平成16年7月1日より一般市民によるAEDの使用が可能となりました。）

AEDの操作は電源を入れた後、音声に従って誰でも簡単に扱うことができますが、心肺蘇生法の流れの中で除細動（電気ショック）を速やかに行なうことがとても重要です。安全で正しく迅速にAEDを取り扱うためには救命講習を受けることが望ましいです。



応急手当普及員講習

緊急時、その場に居合わせた誰もが応急手当ができることを目的とした応急手当普及員講習が10月28日から12月9日（内8日間）、延べ24時間の講習が行なわれました。70会員からの受講希望があったため2期に分けて講習を開催することになり、この1期では22名の方が資格を取得されました。応急手当普及員の資格は、所属する事業所、サークル、自治会等で応急手当の指導ができ、修了証の発行もできる資格です。講習の内容は普及の指導要領や応急手当の基礎知識、救命に必要な応急手当（CPR・

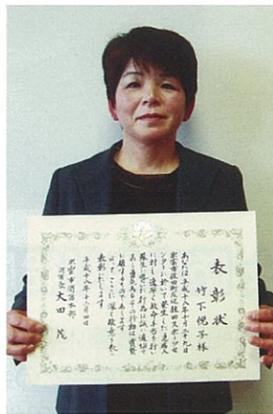
AED）や普及啓発の指導要領など普及員としての必要な知識を学びました。

本協会では会員自らが地域の防災・救命の拠点となるための事業の一環として応急手当普及員の養成に力を入れてまいりますので、会員の更なる協力をお願いいたします。

JAいずもの救命活動

10月29日佐田町グラウンドで開催されたゲートボール大会で心肺停止状態になった男性に対し、駆けつけたJAいずも職員の竹下悦子さん（消防長表彰）が直ちに心臓マッサージを開始し心拍が再開、病院収容時には意識・呼吸も回復しました。その後、男性は順調に回復され11月には無事退院されました。

本協会会員のJAいずもでは消防本部が行なう普通救命講習を全職員が受講することを目標（現在821名・受講回数31回）とされ、この勇気ある職員も6月に受講しておられます。本協会の新規事業の一つである応急手当普及員の養成では、現在、22名の方が資格（この資格がないと一般の人に心肺蘇生等を普及することができません）を取得されております。今後、この養成講習を継続して実施するとともに、普及員の皆様の協力を得て協会独自の普通救命講習を実施いたします。



平成19年度 危険物取扱者試験

▲第1回（甲種・乙種全類・丙種）

【試験日】6月10日（日）【受付期間】4月12日（木）～4月26日（木）

▲第2回（甲種・乙種全類・丙種）

【試験日】10月28日（日）【受付期間】8月28日（火）～9月11日（火）

▲第3回（乙種第4類）

【試験日】2月10日（日）【受付期間】12月11日（火）～12月25日（火）

平成19年度 消防設備士試験

（甲種・乙種）

【試験日】8月19日（日）【受付期間】6月21日（木）～7月5日（木）

★ 詳細については事務局（21-6922）におたずねください。

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本協会では今年の宍道湖一周駅伝に挑戦することになりました。

ただいま出場選手を募集しておりますので、出場希望の会員は事務局にお問い合わせください。

事務局一同



出雲地区防災安全協会 会報

No.2
2007.1/26

発行・事務局
出雲市消防本部内
TEL (0853) 21-6922



「少年消防一日体験学習」

新年の挨拶



会長
内田 正二

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。日頃から出雲地区防災安全協会の運営につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本協会は、昨年5月、出雲地区防火協会、平田危険物保安協会、大社危険物保安協会の3協会が合併し新たに出発することになり、これを契機に更なる組織の拡充を図ってまいりました。

さて、近年、我国は急速な高齢化社会が進展するとともに大家族中心社会から核家族中心社会となり、高齢者夫婦だけの世帯や高齢者の一人暮らしがますます増え、住宅火災による死者は高齢者を中心に毎年1,000人を超えるようになりました。また、全国各地で発生する地震、地球温暖化の影響と思われる過去に例をみない台風の上陸、さらには竜巻、又、7月豪雨災害にみられる水害などにより多くの尊い人命が失われております。

このような現状を踏まえ、地域の安心・安全を目的とする本協会は、会員自らが地域の防災・救命の拠点となるよう最新防災情報のメール配信や応急手当普及員の養成、AEDの設置等の事業に力を入れて参りました。

予期せぬ人的災害・自然災害の発生が懸念される昨今、本協会は、更に防災安全事業を積極的に推進し、無災害都市実現を目指す所存でございますので、今後とも会員の皆様の変わらぬご支援・ご協力を頂きますようお願い申し上げます。



危険物保安関係功労者定例表彰

平成18年度危険物保安関係功労者定例表彰式及び安全講演会が6月20日に松江市のテクノアークしまねで開催され、出雲科学館館長の曾我部國久氏の「事故の先を読む安全対策」を演題に、実験を交えた講演がありました。また安全講演会に先立ち「平成18年度危険物保安関係功労者表彰式」があり本協会から次の事業所及び個人が受賞されました。

個人 の部



永瀬石油(株) 出雲空港サービス 永田 眞一様
漁業協同組合 JPしまね平田支所 渡部 浩吉様
社会福祉法人 きづき会 祝部 克巳様

事業所の部



(有)小椋建材 様



三協貨物(株)平田支店 様



複合型高齢者福祉施設サンライト 様

視察研修

今年度は11月8日、9日の2日間、大阪方面への視察研修を企画し28名の会員の参加がありました。

1日目は地上40階建、高さ173メートルの梅田スカイビルと体験型学習施設である阿倍野防災センターを視察しました。梅田スカイビルの防災設備は、災害時、統制のとれた指示と現場での効果的活動ができるよう地階の防災システムルームで一括制御されていました。また、ビル全体にエネルギーを供給する機械室では、ボイラー、発電機などを動物に見立て彩色し、殺風景な機械室の労働環境に配慮した工夫がなされていました。阿倍野防災センターでは消火器による初期消火訓練、大型映像装置・振動装置・音響装置を組み合わせ、実地震を再現したバーチャル地震や日本に一台しかない起震機により阪神・淡路大震災や鳥取県西部地震、近い将来必ず発生する南海地震を体感しました。

2日目は、NHK BKプラザと大阪歴史博物館の消防用設備等を研修しました。BKプラザには多様な撮影セットが設置され、また大阪歴史博物館には歴史上の貴重な資料が数多く展示され、それぞれに対応する消火設備が設置されていました。



大阪市立阿倍野防災センター

共 催 事 業

★第3回 幼年・少年・女性防火クラブ指導者研修会

9月15日に出雲市今市町「ビッグハート出雲」で幼年・少年・女性防火クラブ指導者研修会を開催(出雲市消防本部と共催)しました。日御碕婦人消防隊の九矢隊長の活動報告のあと、JAいずも四絡女性部婦人防火クラブによる救命寸劇や浜山保育園幼年消防クラブによる演奏及びクラブ員の「防火の誓い」で閉会しました。



★消火技術訓練大会

第14回消火技術訓練大会を10月13日に今市町「一の谷公園自由広場」で開催(出雲市消防本部と共催)しました。大田大会会長、中筋副会長の挨拶に続き消火器の部から屋内消火栓の部と順次実施しました。今年は、消火器の部22チーム、屋内消火栓の部7チームで消火のスピードと正確さを競い真剣なまなざしで競技に臨んでおられました。今年は稀にみる僅差で結果は次の通りでした。来年も是非ご参加をお待ちしております。

結果



消火器の部

- 優勝 ヒカワ精工(株)
- 準優勝 JAIいずもラピタ
- 第3位 (株)ダイハツメタル出雲工場



屋内消火栓の部

- 優勝 (株)出雲村田製作所
- 準優勝 (株)ダイハツメタル出雲工場
- 第3位 島根大学医学部

★防火ぬり絵展

平田消防署管内では、秋の全国火災予防運動にあわせて出雲地区防災安全協会との共催により、防火ぬり絵展を開催しました。このぬり絵は、平田地区の幼稚園、保育所の5歳児のみなさんの作品で、11月9日から15日までのあいだ平田町にある割烹温泉「ゆらり」に展示しました。展示の期間中は多くの方々に見ていただき、火の用心を呼び掛けました。



防災メール

会員自らが地域の防災・救命拠点となるために必要な防災安全情報等の提供を9月1日(防災の日)から開始しました。これは会員のパソコンや携帯電話を活用し、地域で発生した災害状況や火災予防の知識、救急法の豆知識などを配信します。また、消火器の不適合取引、住宅用火災警報器の悪質商法等の発生が懸念される場合もただちに情報を提供します。